

会 報

NIIGATA HOHJINKAI KAIHOH

2023
vol.151

令和5年2月10日



新潟県の草花「雪割草」写真提供 西蒲区 花工房ほんま 本間秀晃氏

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」！

消費税期限内納付

法人会 一声運動

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に！

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
新潟法人会
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699



役にたつホームページ

あけまして おめでとうございます

－ 2023年新春対談 －



新潟法人会

会長 永塚 重松

新潟税務署長

安藤 和之 氏

—— あけましておめでとうございます。

本日は、安藤署長と永塚会長の新春対談をお願いいたします。

2022年を振り返って、ご感想などをお話しいただきたいと思っています。

いろいろあったと思いますが、最初に安藤署長からお話いただきたいと思います。よろしくお願いします。

署長 あけましておめでとうございます。

2022年は、引き続きコロナ下で社会経済活動が制約を受けた年でもありました。

しかし、ウィズコロナで工夫をしながら、徐々にイベント等が復活しつつあることは明るい兆しと捉えています。

一例をあげれば、3年ぶりに納税表彰式を実施しました。参加する者の人数を絞り、かつ、二部制にするなど工夫し、万全の感染防止対策を講じて実施しました。

また、酒のイベントにおいても、従来の「にいがた酒の陣」とはスタイルを変更した「にいがた酒の陣NEXT」が入れ替え制で実施

されたことも、ウィズコロナ下での明るいニュースと言えるのではないでしょうか。

会長 あけましておめでとうございます。

安藤署長をはじめ新潟税務署の皆様、そして新潟法人会の会員の皆様におかれましては、新たな気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2022年は、確かに安藤署長のおっしゃる通り、新潟法人会でも万全の感染防止対策を講じなが

ら、各種のイベントや研修会・セミナーを開催することができるようになりました。

法人会の本来の活動目的である税知識の普及、税務コンプライアンスの向上に貢献するために、会員のニーズや時節に合ったものを選択してきました。昨年は特にインボイス制度、電子帳簿保存法に関する関心が高く、研修会等を6回開催しましたし、今後も数回開催予定になっています。大勢の方が参加される講演会

も、総会後に渋谷和宏氏、年末特別講演会には村尾信尚氏に講師をお願いして開催することができました。

また、会員交流活動についても、会場ホテルのご協力により万全の感染防止対策を講じて懇親会も開催することができました。

——アフターコロナの生活様式に対応して社会情勢も大きく変化しました。

税を取り巻く環境も絶えず変化し続けていると思います。この状況下において、法人会の更なる飛躍に向けて、今後の課題などについてお話いただきたいと思います。

署長 法人会は会員企業の税に関する知識の習得のための各種情報の発信、研修会の開催を実施していることに加え、租税教室の開催、税に関する絵はがきコンクールを開催など、広く社会に向けて税の啓発活動を展開されています。

この活動は、会員企業自体の税に関するコンプライアンスの向上に資するだけでなく、啓発活動を通して社会貢献をしていることを意味しています。

今日、企業経営において重要とされるキーワードとして「ESG」という概念があります。すなわち、環境への配慮(E)、社会貢献(S)、ガバナンス(G)ということですが、法人会は税の啓発活動を通して社会貢献(S)を行い、また、自らが法令を遵守した申告を行うことでガバナンス(G)の充実にも取り組んできたといえます。

まさに法人会は、時代を先取りした活動を展開してきたのであり、これからの経営に法人会はなくてはならないものです。この点をアピールできれば、法人会はさらに強固な組織となるのではないのでしょうか。

会長 時代を先取りした活動と評価していただき、誠にありがとうございます。

今後の法人会をさらに強固な組織としていくためには、会員増強が不可欠となっています。令和4年12月末現在の会員数は2,812社となり、ピーク時には5,000社を超えていたものが3,000社を割込む状況にあります。会員数の減少は、企業の廃業や新型コロナウイルス感染拡大による





業績低迷等による退会者の増加が主な要因となっています。会員増強は法人会の組織基盤確保における最重要課題なのです。

また、法人会の組織強化には、財政基盤の確保・増強も会員増強と併せて重要な課題です。福利厚生制度協力3社との連携強化により、財政基盤を確保するとともに、新規会員獲得においても連携を強化しています。

法人会が、税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、社会の繁栄

に貢献する団体であることをアピールし、組織強化に努めていきたいと思っています。

—— 新年に当たり、決意したことや今年の抱負をお聞かせください。

署長 税務行政のデジタルトランスフォーメーション（DX）を一層推進していかなければならないと感じています。

税務行政のDXの柱は2本あって、一つは、デジタル化による納税者サービスの充実、もう一つは、データ活用による調査・徴収の効

率化・高度化を実現することです。

納税者サービスの向上については、申告から納付まで税務署に行かずに様々な手続が完了することを目指すものです。そのため、e-Taxやキャッシュレス納付を一層推進していかなければなりません。

また、調査・徴収の効率化・高度化については、将来的にはAIの活用を見据え、幅広いデータの分析を行うこととしており、こうした取組を加速していかなければならないと考えています。

さらに、令和5年10月からのインボイス制度の円滑な導入に向け、広報・相談事務の一層の充実に取り組んで参ります。

会長 法人会として、いかなる状況下でも、何ができるか、何を提供できるかを考えて、会員企業の皆様にお役に立つ事業活動、情報提供を可能な限り実施していきたいと考えています。

特に、令和5年10月から導入されるインボイス制度については、会員の皆様の関心も高く、制度の円滑な導入に貢献できるように研修会等を含め、積極的な対応を

とってまいります。

また、個人的には、還暦後の体力の衰えを少しでもカバーするため、スポーツジムに通ったりジョギングしたりしていますので、今年も継続して、健康第一で過ごしていきたいと考えています。

—— 最後になりますが、何かありましたら一言お願いいたします。

署長 今年は兎年です。兎はその穏やかで温厚な性質から「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

新潟法人会の皆様にとりまして、この兎年が穏やかで、そして飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。

新潟法人会の皆様、本年もどうぞよろしく願っています。

—— 安藤署長、永塚会長には貴重なお時間をいただき感謝いたします。

会員企業の皆様にも、本年実り多き年になりますよう心から祈念いたしまして新春対談を終わらせていただきます。ありがとうございました。

マンガ
でわかる!

法人会自主点検チェックシート

- 法人事業概況説明書編 -

国税庁後援



※平成30年4月1日以後終了事業年度分より「法人事業概況説明書」の様式が改訂されております。

作文コンクール」

【新潟法人会長賞】

「税の役割と

私たちに求められること」

新潟明訓高等学校

一年九組 三原 悠月ゆうな

税金の役割とか、税金がある意味って何だろう。小さい頃から当たり前にあって何かを買うときは当然のように支払ってきた税金。もしもそれが無い世界になったら税金がある意味が分かるのではないかと考えた。

もしも税金の無い世界になったら。消費税を払わない分モノが安く購入できるし、所得税がないため実際の収入が上がる。そう考えると税金が無い方が私たちの生活は豊かになるのかもしれない。しかし税金の使い道について調べると、税金の無い世界は色々と不便であることが分かってきた。

もしも税金の無い世界になったら。まず医療費が全て自己負担になってしまふ。私たちが納める税金の使い道として

最も多いのが社会保障関係である。社会保障とは私たちが安心して生活していくために必要な「医療」「年金」「福祉」「介護」「生活保護」などの公的サービスのことをいう。現在私たちは病院に行っても実際の医療費の1/3割しか払っていないのだ。そのため、税金がなくなれば当然医療費の補助もなくなり、毎回高額な医療費を払うことになってしまう。

もしも税金の無い世界になったら。私たちが毎日使用する教科書に高いお金を払わなくてはいけなくなる。税金の用途のうち、文教及び科学振興費は教育や科学技術の発展のために使われている。その内訳を見ると、例えば公立小・中学校の教員の給与などの三分の一を負担している「義務教育費国庫負担金」に一兆五〇一五億円、教科書の配布や国公立大学法人・私立学校の援助のための「教育振興助成費」に二兆三・三九億円が当てられている。そのほかにも公立の小・中・高等学校の校舎改築などのための支出や育英事

業費などもあり、そういった予算によって学校教育が運営されている。

以上のことから、税金は私たちの生活を助け安心した生活を送ることに非常に役立っていることが分かった。

また、日本の人口は現在減少傾向にあり、二十一世紀半ばには二・五人に一人が六十五歳以上の高齢者となる超高齢化社会になると言われている。その一方で日本の労働者人口は減少しており、これは少子化や働かない若者が増えていくことに起因する。このような社会の変化により、これから私たちが労働者になる頃には現在よりも一人当たりの納税負担額が増えると考えられる。しかし、多くの人が納税という行為に興味・関心を持ちそれについて深く考えなければこのような問題も話し合われることなく完全にスルーされることになる。そのため、私たち納税者が「税を納めている」自覚を持ち、その使い道について知り、これからの税の在り方について考えることが重要だと思う。

「税についての

【新潟法人会長賞】

「固定資産税から学ぶこと」

新潟清心女子中学校

三年 渡辺 乃心ののみ

みなさんは固定資産税という税を知っていますか？今回私は固定資産税と農業の未来について調べました。

まず、なぜ私がこの税を調べたのかというと私の祖父は畑と田んぼをもっていました。二年ほど前に田んぼの一部を売ってしまいました。そして、売ったところは住宅になっていました。田んぼを売った当時、私の父は七十近かったです。管理するのが難しくなったのかなと思ったら、それだけでなく農地の税金を払わなくてはいけないからと知りました。私はそこから農地の税金が気になり固定資産税について調べることにしました。

固定資産税とは、家や土地を所有し

ている人が納めなくてはならない税金です。農地の場合は一般農地、一般市街化区域農地、特定市街化区域農地、生産緑地の四種類に分けられます。そこからさらに農地評価と宅地評価の二種類の評価があります。どの農地と判断されるか、どう評価されるかで納めなければならぬ税金が決まります。前述した、売ったところは住宅になっていましたというのはまさに宅地評価されたのだなと思いました。

日本農業の未来はこの固定資産税によつて良い方向へ向かっていくと私は思います。なぜかというと四種類に農地が分けられることによって、市街と農地のメリハリはきいた国土にすることができからです。そうすれば国土が少なくとも最大限活用することができ。そして日本の農家は収入が低いことも問題としてあげられています。それを解決するためにも一人当たりが

管理する農地の量を増やし、AIなどの最先端技術を使い農業の効率化を進めることで収入面での問題はおおいに軽減されるのではないのでしょうか。そして日本は日本の農家は経営者へと変わっていくでしょう。

私はこの農地の固定資産税を調べて税のしくみはすごいなと思いました。固定資産税に限らず、税を払うことにネガティブな気持ちになってしまいがちだと思います。ですが税のしくみが分かるとう経済を安定させ、日本をよりよくするために税があると理解すると思います。税のしくみをもっとたくさんの人が理解することで少しはポジティブな気持ちで税を払っていただけるのではないのでしょうか。

納税表彰式

令和4年11月16日にホテルイタリヤ軒において、「納税表彰式」が開催されました。今回は、コロナ感染拡大防止対策として、表彰式への受賞者の出席者数が制限され、さらに二部制で実施することで対策が徹底されました。

税務署長表彰、税に関する作文コンクール、税に関する絵はがきコンクールなど様々な分野で表彰された方々へ、賞状・記念品が授与されました。新潟法人会関連で表彰対象となった方々は以下の通りです。

関東信越国税局長表彰

税務署長表彰

皆川 義雄 氏 (株)皆川組

津野 芳彰 氏

マイコロジータクノ(株)



税に関する作文コンクール

新潟法人会長賞 渡辺 乃心 さん

新潟清心女子中学校

新潟法人会長賞 三原 悠月 さん

新潟明訓高等学校

税に関する絵はがきコンクール

金 賞 川原 紗奈 さん

新潟市立亀田西小学校

銀 賞 長谷川 舞 さん

新潟市立鳥屋野小学校

銅 賞 五十嵐 未空 さん

新潟市立曾野木小学校

新潟税務署長賞 遠藤 僚 さん

新潟市立東中野山小学校

新潟税務署長賞 早坂 采杷 さん

新潟市立内野小学校

年末特別講演会・懇親パーティー

令和4年12月5日にANAクラウンプラザホテル新潟において、年末特別講演会・懇親パーティーが開催されました。

特別講演会は、元日本テレビ系「NEWS ZERO」のメインキャスターをされた村尾信尚氏に、「コロナ後の世界と日本」と題してご講演いただきました。コロナ禍の中でも活躍する企業のお話などとても興味深いお話でした。

講演会後の懇親パーティーには、約100名の皆様からご参加いただき、永塚会長の挨拶・乾杯からスタートし、盛大な懇親パーティーとなりました。



シリーズ

人にいがた発見

このシリーズは新潟発で活躍されている方々をご紹介します。

「新潟にオペラ専用の 馬蹄形ホールができるという」



テノール歌手
笛田 博 昭 さん

プロフィール
南魚沼郡湯沢町出身。
名古屋芸術音楽大学声楽科大学院修了。
2011年文化庁新進芸術家海外研修員として渡伊。
フェッラーラ国際コンクールで優勝。タイトルロール
でイタリアダビュ。
第9回マダム・バタフライ世界コンクール第1位、他
受賞多数。
藤原歌劇団のプリモテノールとしてオペラ公演に出演、
2017年「ノルマ」にて世界的オペラ歌手マリエッ
ラ・デヴィーアと共演、2022年佐渡裕芸術監督
プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」出演、NHKニユー
イヤースオペラコンサートに17年より連続出演、NHK
「かららノクラフ」人気投票であなたの好きな日本人オ
ペラ歌手第1位を獲得、日本オペラ界で今最も注目を
集める唯一無二のテノール歌手。藤原歌劇団団員。新
潟県湯沢町特別観光大使。

—— 本日は昨日11月26日りゅーと
ぴあでのリサイタルを終えたばかり
のテノール歌手の第一人者、笛田博
昭さんにお越しいただきました。よ
ろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、ご出身は湯
沢町でいらっしゃるんですね。

はい、実家はスキー場の中で食堂
をしていました。

—— 高校は敬和学園高等学校へ、
この頃にテノール歌手へのきっかけ
があったと伺っています。その辺り
をお聞かせ願えますか？

私は子供の頃にピアノを習ってい
たとか合唱部に入っていたなど一切
ありませんでした。ただ合唱コン
クールなどで「いい声してる」「よ
く通る声だね」と褒め

られる事がうれしくて
音楽は好きでした。高
校2年の音楽の授業で
三大テノール「パヴァ
ロット」「ドミンゴ」
「カレラス」の映像
を見て衝撃を受けまし
た。特にパヴァロッ
ティの声に魅了され、
真似ばかりしていま
したね。



3年生になってそうした真似を見
ていた先生から新潟日報主催の新潟
県音楽コンクールへの出場を勧めら
れ、参加したところ優秀賞、高校生
では1位となりました。本当に自己
流で真似から始めた事がこんなに評
価されるんだと思い、専門的な大学
への進学を考え始めました。しかし
音大受験には普通、ピアノやソル
フェージュなど専門的な試験があ
り、そうした勉強をしていないと難
しいのですが、名古屋芸術大学には
推薦枠があり、実技と面接だけだっ
たのです。もうこころしか無いと思い
進学しました。

—— 専門的な学校の中で新たな出
会いはありましたか？



はい、つい先頃お亡くなりになってしまったのですが中島先生という素晴らしい師匠に出会うことができました。先生はテノールを育てるのが上手で、本格的に声楽やオペラを学びました。中島先生は正に師匠であり、先生との出会いが無ければ今の私は無いと思います。

——卒業後はいよいよ世界へですね。

私は大学院まで進みました。卒業後は様々の方から「早くイタリアに行きなさい」と言われましたが私自身あまり海外に魅力を感じていませ

んでした。卒業から3年程した頃に一か月位遊びのつもりでイタリアに行きました。その時にミラノでリナ・ヴァスタという先生、当時75歳位のおばあちゃんに出会いました。この方がとんでもない人だったのです。この先生の一声を聴いて虜になりました。この人しかいない！と。この先生に絶対習いたい！きちんと留学したいと思いました。

——その後、どうされたのですか？

本格的に留学をする為には、まずお金が必要となります。そこで奨学金をいただけるところを探しました。一回目は五島記念財団の奨学金で2年間、二回目は文化庁の奨学金をいただき更に1年間、留学する事ができました。



——その間に様々なコンクールや大会で賞をいただいていますよね？

私はそんなにたくさんは受けていないのですが、フェッラーラ国際コンクール、これは優勝するとヴェルディ

作曲の「イル・トロヴァトーレ」で主役ができるという事で受けてみたら優勝できました。フェッラーラ歌劇場でイタリアデビューできました。その他にはイタリア声楽コンクール、マダム・バタフライ世界コンクール、日伊声楽コンクールなどですね。

——現在の活動はどんな風にされているのですか？

私は基本的に演奏活動しかしていません。学校で教える事等はしておりません。ですから演奏会に合わせたスケジュール、準備、練習、リハーサル、本番といった具合ですね。

——昨日はリサイタルといったスタイルでしたが、オペラについ



て伺います。日本ではオペラをご覧になった事の無い方がたくさんいらっしゃると思いますがオペラってこんな風に観ると楽しいよって教えていただけませんか？

そうですね、オペラは休憩を入ると2時間を越える公演になります。初めて見に行かれる時は事前に公演される作品のDVD等をご自宅



で見ていかれるとストーリーを理解した上で観劇できますのでわかりやすいと思います。でも一番は「生で聞く」事です。生で聞く事で、あの声量、響きといった方が良いでしょう。うか、響きの感覚を肌で味わっていただきたいですね。それはどんな高級なスピーカーでも再現できないもので、劇場で、生の舞台でしか感じられないのだと思います。ですから

ら、だまされたいと思って一度、劇場においていただき生で聞いてみてくださると本当にビックリすると思います

—— けどね（笑）

—— イタリアにおけるオペラ歌手

はどの様に見られているのでしょうか？

そうですね。リスペクトされていますね。日本での歌舞伎役者に対する感覚と近いものがあるでしょうか。誰でもできる事ではない事は理解されていますから、私もイタリアでオペラを歌っていると言うとすごく驚かれて対応も違ってきますね。

—— 体そのものが資本とありますがトレーニングなどされているのでしょうか？

ウエイトトレーニングなどはあまり良くないのですよ。歌う事に必要な筋肉は



インナーマッスルや横隔膜を支える筋肉だったりするのですが、これは歌うことでしか鍛えられないものなのです。あとは呼吸法や息のコントロールなどですね。それよりもっと大切なのはやはり体調ですね。まずおいしい物をよく食べる。食はとも大事です。あと、ストレスをためない事です。私はこう見えて、すごく繊細なんです。ストレスを感じやすいんです。ですから自然の中でリラックスして軽い運動をしたりして生活する事が一番良いケアだと思っています。

—— 令和5年の5月6・7日に愛知県三河市で大きなイベントがあるとお聞きしましたが？

三河市民オペラです。アイプラザ豊橋という劇場で「アンドレア・シェニエ」という作品をやります。すご

い大作でお金もかかるし、難しいので日本ではあまり公演されない作品ですので楽しみです。

—— 笛田さんは歌っている時、どういう思いで歌っていますか？

私は、歌う時に「神様に届くように」と、思い歌っています。これは宗教とかではなく、きちんと天に届けば良いなと思って歌っているつもりです。

—— 笛田さんのこれからの夢は？

歌い手としては死ぬ迄成長し続けたいという事、後は新潟にオペラ専用ホールができるといいな。馬蹄形の一〇〇〇人位収容できるホールです。日本に一つも無いんです。なんとか生きてる間にできるといいなと思っています。

—— 本日は大変ありがとうございました。一層のご活躍を期待しています。



随想

夕やけこやけ



「子として、
親として、
いま年老いて」



新潟法人会
事務局長
小泉 将一

昨年12月の下旬に義母（享年96歳）が老衰で永眠しました。これで父母と呼べる人がいなくなつて寂しい気分の中で、ふつと考えることがありました。『私は子としてどうだったろうか？親としてどうだったろうか？年老いて今はどうだろうか？』と。

私は、昭和31年に長男として生まれました。先に姉がいましたが、生後6か月のころに病気で他界したせいで、母は私に優しく、とても大事にしてくれたので大好きでした。一方父はとても厳

しい人でしたのであまり好きではありませんでした。高校を卒業後、上京して進学した時から、永らく家を離れて暮らしていました。親孝行したかなと思ふのは、高校生時代からやっていた冬場の屋根の雪降ろしと、結婚後に3年間同居して、孫との生活をさせられたことだけで、子としてはイマイチだったと反省しています。

結婚して生まれた一姫二太郎の子供達は、既に結婚し独立していますので、親としての最低限の役目は果たせたと思っています。しかし、子供が幼い頃は妻に任せっきりで父親失格だったでしょう。『人見知り 我が子にされても 午 前様』そのころ妻が詠んだ句です。忘れられない一句です。

いま年老いて思うこと。妻と二人で元気で暮らす昨日と同じ今日に感謝し、たまにかわいい孫と遊び、大好きなゴルフをいっぱい楽しみたいです。そして、最後の時を迎える前に、少しは社会に貢献できる事をしたいと思っています。

編集後記

今号の「シリーズ人にいがた発見」は、テノール歌手の笛田博昭さんです。普通の人の声は、口元から聞こえてくるものと思っておりましたが、リサイタルで聴いた笛田さんの歌声は、彼の体を中心とした3メートルくらいの空間全体から聴こえてくる（響いてくる）生まれて初めての体験でした。翌日のインタビューは、広報委員のメンバーも、リサイタルでの、強い感動・高揚感があったようで、広報誌用のインタビューの後、先を争っての質問タイムとなりました。もちろん最後は、みんなニコ・ニコの記念撮影で終了。

笛田さんは、今年も新潟でリサイタルを、開かれるそうですが、お勧めは、出来るだけ正面の少しステージに向かって左側の席がよろしいかと思われます。どうぞ、私と同じ体験をしてみてください。

広報委員長 山口 正人



日時
令和5年3月4日(土)
13:30～15:00

会場
ANAクラウンプラザホテル新潟 3F「飛翔」
新潟市中央区万代5-11-20（駐車場には限りがあります）

講師
NHK大相撲解説者
まい うみしゅうへい
舞の海秀平氏
演題「小よく大を制す」

特別講演会のご案内